

# 迅速・安心の システム保守で 日本に残る企業を 支援したい



多摩の企業人  
『私の決断』  
Vol.20

株式会社  
ソウ・システム・サービス

代表取締役社長

と か じ そ う

## 戸梶 総氏

1961年東京都大田区生まれ。  
大学卒業後、横河電機に入社。36歳で独立・起業。  
産業プラントシステムの総合設計・施工を手掛ける。  
現在社員は30人。  
青梅市新町3-3-1 宇源ビル5F  
TEL: 0428-30-4114  
<http://www.sosystem.co.jp>

**安** い人件費や生産コスト、新しいマーケットを求めて製造拠点を海外に移転する動きが続いている。それに対して、生産システムのメンテナンスコストを大幅に削減して、「日本に残る企業を支援したい。少しでも多くの企業に残って欲しい」と東奔西走するのが、ソウ・システム・サービスの戸梶総社長である。

石油の調合入出荷の運転システムなどを提供する大手計測・制御器メーカーで、花形エンジニアとして活躍していたが、1996年の石油自由化で各地の製油所が閉鎖。所属していた石油事業部門も解体されたため、苦悩の末に退社した。下請けのソフト制作会社として起業したが、1年後に「自らの技術やノウハウをもっと社会に生かしたい。小回りの利くシステム設計やソフト作成・保守サービスで困っている工場を支援しよう」と、主要事業を転換して再出発を切った。

手掛けるのは、工場内の化学プラントや発電プラントの運転を監視・制御するDCSと呼ばれる分散型制御システムの企画、設計、ソフトの作成、保守管理。大規模工場のDCSは、東芝、日立、横河電機、アズビル(旧・山武)など大手メーカーがシェアを握っているが、システムはCPU一基で約600万円、筐体に入った一つのシステムで約1500万円、テレビモニターだけで1000万円と高額。簡単に更新できるものではなく、20年以上経過し、メーカーの保守サービスが終了したシステムを使う企業も多い。それら企業と契約し、主にシステムの保守や修理、既存システムのソフト改造などを行うのが業務だ。

「既存システムのメンテナンスや延命



永年勤続祝い、マイカー通勤用の駐車場完備、産休・育児休暇制度、引越し費用補助、歓迎会や忘年会の費用を負担する共済会、14カ月研修や明確・公開の評価・給与体系など、福利厚生、研修、雇用面も充実している

化により、国内に残った企業の設備維持費のうち、システムの維持・更新費を少しでも下げる手伝いがしたい」と戸梶社長。今までDCSの分野はハードの製造メーカーの系列の中でソフト改造や増設、保守、管理を請け負うのが慣例で、価格やサービス競争の起こりにくい業界への新規参入だった。

### 新発想で低コストの保守実現

小回りの利く「小さな会社」の利点を生かし、迅速な対応、短納期、低価格、新発想の低コストの保守を実現した。プラントメーカーや工場建設の工事会社と協力体制を築き、石油精製・化学・電力・製紙・医薬業界などのプラントの仕事を受注し、15期連続の黒字、無借金、過去には10期連続の成長を記録するなど、着実に業績を伸ばしてきた。現在、大手システムメーカーとも競争できるだけの準備を行い、これにより取引先企業からは高い支持を得ている。

例えば、システムの改造や増設・保守などを請け負うには、各メーカーの制御システムを自社内にもう一つ揃える必要があるが、資金のない創業時に最初の制御システムを無償で提供してくれたのは取引先企業だった。その後も大手医薬工場、大手化学会社、大手樹脂工場などが同社を応援しようと、更新などで不要となった各メーカーの制御システムを無償で提供してくれた。

将来的には、CCSと呼ばれる集中型コントロールシステムの開発や工場全体の製造管理システムMESの構築を行い、国内企業を支援していきたいという。また、「そのためにも国内に留まる企業を支援するという思いを共有してくれる若い人材が欲しい」と語る。メーカー以外に同業者もいないため、「人材も自社で育成していくしかない」と苦労しているそうだ。

新たな道を切り開くイノベーション企業故の悩みも多い。しかし、同社の挑戦は多くの企業から共感と注目を集めている。